

法務大臣感謝状の伝達



長きにわたり村の人権擁護委員を務めてきた鶴居市街在住の宇野健二さんに法務大臣より感謝状が贈られました。

宇野さんはこれまで9年にわたって委員を務め、村民の人権擁護や人権思想の普及、高揚に尽力しました。

贈呈にあたり、宇野さんは「小学校などでの人権教室に関わるが多く、子どもたちのいじめの防止に貢献できたならうれしい」と話しました。

村内中学生が表敬訪問



地区予選等で好成績を残した、鶴居中学校の生徒13名が北海道中学体育大会に出場するため役場を訪れ、長尾副村長より激励を受けました。

それぞれ陸上競技とソフトテニスのペア、団体で出場し、激励にあたり長尾副村長から「日頃の練習の成果を発揮し、怪我することなく頑張ってください」と述べ、出場する生徒からは「これまでの練習を思い出して、一生懸命頑張ります」と意気込みを話しました。

令和4年度戦没者追悼式



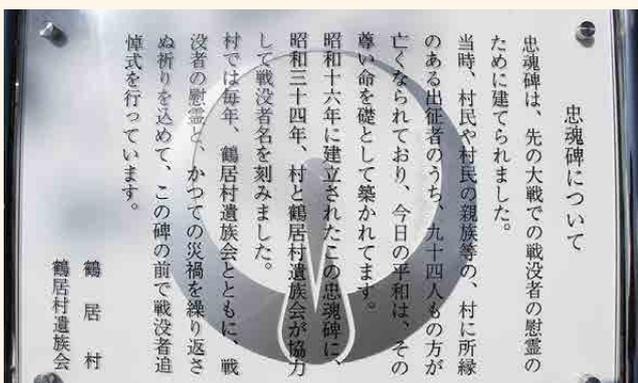
8月9日、鶴居市街の忠魂碑前で、戦没者追悼式が執り行われました。

この忠魂碑には、先の大戦で亡くなられた村にゆかりのある英霊が祀られており、毎年この時期に追悼式が行われています。

追悼式には、戦没者の遺族、来賓、関係者などが参列し、戦没者に哀悼の意を表した後、参列者は一人ずつ祭壇に白菊を献花し戦没者の霊を慰めました。

大石村長は「戦後生まれが大半を占める中、平和の尊さ、平和に貢献してきた姿を未来に語り継いでいかなければならない」と述べました。

また、忠魂碑に込められた思いが訪れた人に伝わるように、新たに説明看板が設置され、これまでの思いを後世に残していく活動が続けられています。



鶴居村ふるさと花火大会の開催



8月14日、3年ぶりに鶴居村の夜空に大輪が咲き乱れました。毎年、村営球技場から打ち上げられる花火は村内のみならず村外からも多く人が訪れる一大イベントでした。

当日の日は雨模様が見られましたが夜が近づくにつれて星空が瞬く夏の夜空となり絶好の花火日和となりました。

花火は全部で約1,000発打ち上げられ、新型コロナウイルス感染症対策が十分に取られたうえで開催された花火大会は500人以上の観客が訪れ、大成功を収めました。

コミュニティカフェ 未来カフェ開催



地域の人達との新しい交流の場として8月10日村内初のコミュニティカフェ「未来（あす）カフェ」を開催しました。

NPO法人生活学舎のんきのジェラートやおからドーナツの販売のほか、村内の小学生を対象とした「eスポーツ大会」も実施され、参加者は勝敗を競いながらも楽しんでいました。

さらに、ソシオキュアアンドケアサポートさんにも来て頂き、ハンドマッサージやポイントメイクも実施され、ひと時の休憩、eスポーツ大会、マッサージと子どもから大人まで楽しめるカフェでした。

鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業について



7月13日～15日の行程で村内中学校の2年生を対象に、鶴居村ふるさと創生中学生派遣交流事業を実施しました。本年度から、「日本で最も美しい村」連合に加入している赤井川村の中学校の生徒との交流と赤井川村役場を訪問しました。

赤井川中学校との交流では、全校生徒の前で、鶴居村の村づくりやヤンチョウについての発表を行い、赤井川村役場では、赤井川村の村づくりについての説明を受け、疑問に思ったことを質問していました。参加した生徒の堂々とした発表や質問の様子は、とても頼もしく見えました。

今後も、赤井川中学校との交流を続けていき、色々な体験や経験を通して、豊かな人間性と創造力を併せ持った「鶴居びと」として成長していくことを願われます。